

みなと観光バス株式会社

兵庫県神戸市

生産性向上

需要獲得

担い手確保

ものづくり

サービス

ポイント

安全、快適な旅客自動車運送サービスを通じて、地域の活性化と発展に貢献する

- 「安全運転支援システム」と「デジタルタコグラフ」による運転業務の実証実験に取り組む
- 「神戸スイーツめぐり」「灘の酒蔵探訪」の巡回バスを行政と連携し運行
- 神戸市内の坂の多い地域の「交通弱者」への巡回バスサービスの提供

企業基本情報

所在地	兵庫県神戸市東灘区向洋町東1丁目4
電話/FAX	078-845-3710/078-845-3713
URL	http://www.kobe-minato.co.jp/
代表者	代表取締役社長 松本 浩之
設立	1991年
資本金	5,000万円
従業員数	100人



会社概要

1991年9月設立。1995年1月に発生した阪神・淡路大震災では、神戸市中心部で代行輸送を担う。その後、大手企業（六甲アイランド）の従業員の定期送迎バス事業を受託。

その後、六甲アイランドと阪急御影、JR住吉と住吉台、JR灘と摩耶ケーブル下など坂の多い「交通弱者」の居住区に巡回バスを運行する事業を積極的に展開。



会社外観

革新的な製品開発や創造的なサービスの提供に関する取組の内容

▶▶▶「安全運転支援システム」と「デジタルタコグラフ」

運転席の背もたれに生体センサを設置し、呼吸状態と心拍数を計測。基準値以下になると、LEDランプが黄色や赤色に光り、運転手に警告を発する。同社が開発した「デジタルタコグラフ（ドコールシステム）」（※特許取得）を採用。運行データと車両から送信されたデータを独自アルゴリズムで解析し、車両情報・道路情報など運行情報を多面的に解析が可能。このシステムの活用で、運転手の健康管理とともに、熟練ドライバーの技術を新人ドライバーに伝えることができ、実用に向けて実証実験中。



安全運転支援システム

▶▶▶「神戸スイーツめぐり」「灘の酒蔵探訪」の巡回バスを運行

毎年10月～11月に開催される「神戸スイーツめぐり」「灘の酒蔵探訪」の巡回バスを運行。大型プリンターを導入し、同社のバスをオリジナルカラーでラッピングしたり、パティシエに扮した運転手が運転するなど、楽しさを演出。毎年約1万人の乗客を輸送。乗降客の動向やアンケート結果の分析などを行い、当イベントの開催に不可欠な存在となっている。両事業とも、神戸の秋を代表するイベントとなっている。



「神戸スイーツめぐり」「灘の酒蔵探訪」巡回バス

▶▶▶神戸市内の「交通弱者」への巡回バスサービスの提供

神戸市は六甲山系の山々と瀬戸内海に面した起伏のある変化に富んだ地形で、坂が多く、南北の公共交通網が少ないのが弱点となっている。2001年の六甲アイランドと阪急岡本駅前のシャトル便運行開始を機に、「住吉台くるくるバス」（2005年）、「坂バス」（2013年）、「森北町どんぐりバス」（2013年）、「月見山・長寿ガ丘RUNRUNバス」（2015年）を次々に運行。

「交通弱者」存在する地域に欠かせない公共交通機関として重要な役割を担う。



住吉くるくるバス/坂バス